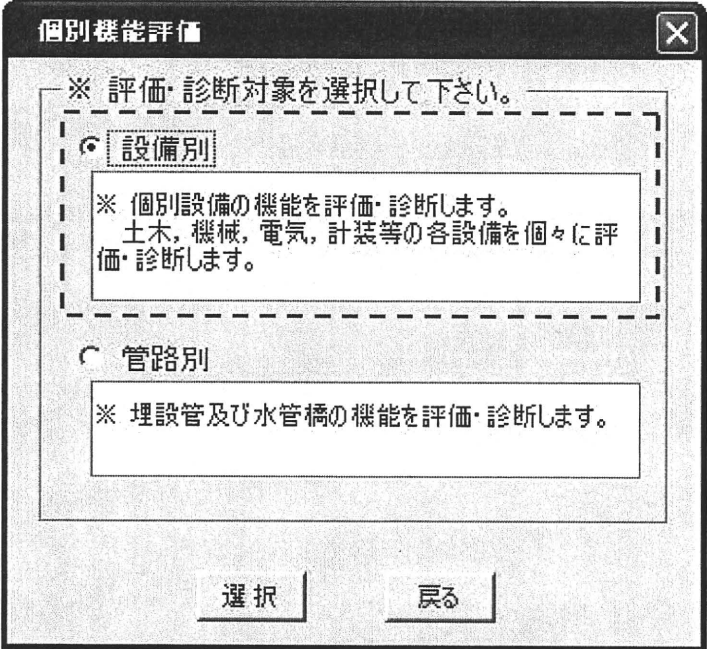


④ 評価・診断対象として設備を選択

| 設備別機能評価・診断 | |
|-----------------|---|
| 評価・診断対象 選択画面 |  |
| 操作手順 | <p>① 設備別のラジオボタンにチェックを入れ、「選択」をクリックします。</p> <p>※ラジオボタンのチェック (画面中の「○」をクリックします。選択肢のうち1つのみ選択可能)</p> |
| (機能説明) | |
| 1. 選択 | <ul style="list-style-type: none"> ・設備数又は管路工区数の入力画面へ移動します。 ○設備別 ○管路別 |
| 2. 戻る | <ul style="list-style-type: none"> ・系統選択画面へ戻ります。 |

⑤ 評価・診断する設備の種類及び設備数を入力

設備別機能評価・診断

設備別機能評価・診断(構造物, 機器, 設備など)

※ 評価・診断を実施する設備にチェックをつけ(複数可)、それぞれの設備数を入力してください。

| ※ 設備名 | 設備数 | ※ 設備名 | 設備数 |
|---|-----|-----------------------------------|-----|
| 取水施設 | | 排水施設 | |
| <input type="checkbox"/> 取水堰, 取水塔, 取水門, 取水管渠, 取水栓 | 0 | <input type="checkbox"/> 排水池排泥池 | 0 |
| <input type="checkbox"/> 集水埋管, 浅井戸, 深井戸 | 0 | <input type="checkbox"/> 濃縮設備 | 0 |
| <input type="checkbox"/> 沈砂池 | 0 | <input type="checkbox"/> 天日乾燥床 | 0 |
| | | <input type="checkbox"/> 脱水設備 | 0 |
| 浄水施設 | | 連配水施設 | |
| <input type="checkbox"/> 取水井 | 0 | <input type="checkbox"/> 配水池, 調整池 | 0 |
| <input type="checkbox"/> 凝集用薬品注入設備 | 0 | <input type="checkbox"/> 送配水ホプ設備 | 0 |
| <input type="checkbox"/> 凝集池(混和池)フロック形成池 | 0 | | |
| <input type="checkbox"/> 沈着池(薬品沈着池, 普通沈着池, 高速凝集沈着池) | 0 | 標尺・電気・計装 | |
| <input type="checkbox"/> 急速ろ過池, 除鉄・除マンガン設備 | 0 | <input type="checkbox"/> 高圧受変電設備 | 0 |
| <input type="checkbox"/> 緩速ろ過池 | 0 | <input type="checkbox"/> 自家発電設備 | 0 |
| <input type="checkbox"/> 膜ろ過施設 | 0 | <input type="checkbox"/> 動力制御設備 | 0 |
| <input type="checkbox"/> 浄水池 | 0 | <input type="checkbox"/> 計装設備 | 0 |
| <input type="checkbox"/> 消毒設備 | 0 | <input type="checkbox"/> 監視制御設備 | 0 |
| <input type="checkbox"/> エアレーション設備 | 0 | | |
| <input type="checkbox"/> 粉末活性炭吸着設備 | 0 | 場内配管 | |
| <input type="checkbox"/> 粒状活性炭吸着設備 | 0 | <input type="checkbox"/> 場内配管 | 0 |
| <input type="checkbox"/> オゾン処理設備 | 0 | | |
| <input type="checkbox"/> 生物処理設備 | 0 | | |

... 設備別機能評価準備シートに移動

... 設備別機能評価準備シートに移動

... 評価・診断対象施設選択画面へ戻る

Microsoft Excel

評価・診断する設備No(最少値)を入力してください
 例)初めて評価・診断する場合は「1」
 例)No.10まで登録済みの場合は「11」

① 評価・診断する設備のチェックボックスにチェックを入れ、さらにそれぞれの設備数を入力します。

② 新規の場合に選択します。

③ 評価・診断する設備の開始番号を入力します。
(次頁の(注)にこの作業の説明がありますので、必ずお読みください)

④ 登録済みの入力結果を編集します。

設備種類・設備数
入力画面

操作手順

| (機能説明) | |
|-----------|--|
| 1. 新規設備追加 | <ul style="list-style-type: none"> ・設備別機能評価準備シートへ移動し、入力した設備と設備数に応じて評価シートを作成します。 ※設備別機能評価準備シートに入力した設備数分だけ、行が追加されます。 |
| 2. 登録設備編集 | <ul style="list-style-type: none"> ・設備別機能評価準備シートへ移動し、登録済みの評価シートを編集できます。 |
| 3. 戻る | <ul style="list-style-type: none"> ・評価・診断対象施設選択画面へ戻ります。 |

※設備別機能評価の実施内容は、「水道施設機能診断マニュアル」の P76～に記載されています。

(注) 設備別/管路別機能評価準備シート以降の作業では、診断・評価対象の設備/管路に番号(No.)を付け、この番号で管理しますので、番号付けには注意が必要です。

同一の番号を付与すると、システムの誤作動の原因となりますので、同一の番号を付けないように配慮してください。以下に、番号付けの方法を説明します。

I 初めて評価・診断を行う場合

初めて評価・診断を行う場合は、操作手順③において開始番号を「1」と入力します。対象設備/管路の数が10の場合、設備別/管路別機能評価準備シートに自動的にNo.1～No.10の番号付けが行われ、これらの分の行が追加されます。

II 評価・診断対象の設備/管路を追加する場合

既に番号が付された設備/管路に、新たに対象設備/管路を追加する場合には、『既に付けられたものよりも大きな番号』を新たな開始番号として入力します。例えば、前述のIに続けて追加する場合には「11」と入力します。このとき、追加対象設備/管路が5つある場合には、設備別/管路機能評価準備シートにNo.11～No.15の番号付けが自動的に行われ、これらの分の行が追加されます。

III 抜けた番号を穴埋めしたい場合

例えば、I及びIIの作業後、No.5を削除したとします(削除の方法は「よくある質問」のQ2、Q3を参照してください)。その後、評価・診断対象設備/管路を5つ追加する場合には、まず、操作手順①で追加対象設備を1つだけ選択し、操作手順③で「5」と入力します。次に、操作手順①で追加対象設備を4つ選択し、操作手順③で「16」と入力します。設備別/管路機能評価準備シートにNo.16～No.19の番号付けが行われ、行が追加されます。

この作業によって、抜けた番号を穴埋めしつつ、設備番号を連続して揃えることができます。なお、設備/管路番号を連続的に揃えなくとも評価・診断作業に不具合は生じません。

⑥ 設備評価・診断のための準備シートに必要項目を入力

設備別機能評価・診断

設備別機能評価準備シート入力画面

● 設備評価準備シート (※ カルテシート-2作成済み) 入力欄

| ソート 並び | 系統名 | 設備区分 | 設備名称 | 入力判定 | 水質 | 水量・水圧 | 経年劣化 | 地震・危機管理 | 維持管理 |
|-----------|---------|---------|---------|------|-----|-------|------|---------|------|
| NO.001 | 第1浄水場系① | 取水施設 | 自動除塵機 | 完 | 65 | 75 | 45 | 45 | 50 |
| NO.002 | 第1浄水場系① | 井戸・薬水埋管 | 洗井戸 | 完 | 45 | 60 | 65 | 50 | 50 |
| NO.003 | 第1浄水場系① | 沈砂池 | 沈砂池 | 完 | 70 | 25 | 70 | 60 | 75 |
| NO.004 | 第1浄水場系① | 着水井 | 着水井 | 完 | 60 | 65 | 50 | 65 | 65 |
| NO.005 | 第1浄水場系① | 凝集薬注 | 薬注設備 | 完 | 45 | 70 | 70 | 65 | 55 |
| NO.006 | 第1浄水場系① | 凝集池 | フロック形成池 | 完 | 50 | 65 | 65 | 65 | 60 |
| NO.007 | 第1浄水場系① | 沈着池 | 薬品沈着池 | 完 | 50 | 65 | 65 | 65 | 55 |
| NO.008 | 第1浄水場系① | 急速ろ過池 | 急速ろ過池 | 完 | 50 | 60 | 65 | 65 | 60 |
| NO.009 | 第1浄水場系① | 緩速ろ過池 | 緩速ろ過池 | 完 | 25 | 65 | 65 | 65 | 55 |
| NO.010 | 第1浄水場系① | 膜ろ過 | 膜ろ過設備 | 完 | 50 | 70 | 75 | 100 | 60 |
| NO.011 | 第1浄水場系① | 浄水池 | 浄水池 | 完 | 80 | 65 | 65 | 50 | 55 |
| NO.012 | 第1浄水場系① | 消毒設備 | 消毒設備 | 完 | 25 | 65 | 65 | 25 | 55 |
| NO.013 | 第1浄水場系① | エアレーション | 曝気設備 | 完 | 60 | 50 | 65 | 65 | 75 |
| NO.014 | 第1浄水場系① | 粉末活性炭 | 粉末活性炭設備 | 完 | 100 | 100 | 100 | 65 | 75 |
| NO.015 | 第1浄水場系① | 粒状活性炭 | 粒状活性炭設備 | 完 | 65 | 50 | 100 | 75 | 70 |
| NO.016 | 第1浄水場系① | オゾン | オゾン処理設備 | 完 | 65 | 65 | 65 | 50 | 65 |
| NO.017 | 第1浄水場系① | 生物処理 | 生物処理設備 | 完 | 100 | 50 | 70 | 100 | 65 |
| NO.018 | 第1浄水場系① | 排水池 | 排水池 | 完 | 60 | 50 | 65 | 65 | 100 |
| NO.019 | 第1浄水場系① | 濃縮槽 | 濃縮槽 | 完 | 70 | 50 | 75 | 70 | 60 |
| NO.020 | 第1浄水場系① | 天日乾燥床 | 天日乾燥床 | 完 | 70 | 25 | 65 | 70 | 70 |
| NO.021 | 第1浄水場系① | 脱水設備 | 脱水設備 | 完 | 50 | 75 | 70 | 75 | 70 |
| NO.022 | 第1浄水場系① | 配水池 | 配水池 | 完 | 50 | 70 | 65 | 100 | 75 |
| NO.023 | 第1浄水場系① | ポンプ設備 | 送水ポンプ設備 | 完 | 75 | 50 | 65 | 100 | 65 |
| NO.024 | 第1浄水場系① | 受変電設備 | 受変電設備 | 完 | 100 | 75 | 25 | 50 | 60 |
| NO.025 | 第1浄水場系① | 自家発電設備 | 自家発電設備 | 完 | 75 | 100 | 50 | 60 | 65 |
| NO.026 | 第1浄水場系① | 動力制御 | 動力設備 | 完 | 75 | 75 | 70 | 50 | 65 |
| NO.027 | 第1浄水場系① | 針装 | 針装設備 | 完 | 100 | 75 | 75 | 25 | 65 |
| NO.028 | 第1浄水場系① | 監視制御 | 監視制御設備 | 完 | 50 | 65 | 65 | 60 | 65 |
| NO.029 | 第1浄水場系① | 場内配管 | 場内配管 | 完 | 75 | 70 | 25 | 70 | 70 |
| NO.030 | 第2浄水場系 | 取水施設 | 自動除塵機 | 完 | 65 | 75 | 45 | 45 | 50 |
| 予備機 | | | | | | | | | |
| 記入例 | 浄水場系①-1 | 配水池 | 第1配水池 | 完 | | | | | |

<Menu>

結果表示 ※評価結果を表示します。

シート3 ※準備シート(カルテ3)に移動します。

戻る ※設備種類・設備数入力シートに戻ります。

※評価を開始する設備を整数で入力して下さい。

NO.001

評価開始 ※カルテシート2を作成します。

操作手順

- ① 設備の名称を記入します。
 - ② □枠にカルテシート-2 の入力を行う設備 No. (整数) を入力し、「評価開始」をクリックします。
- ※「評価開始」により、カルテシート-2A、2B 入力シートに移動します。

(機能説明)

1. 結果表示
 - ・カルテシート-2 の入力結果を表示又は更新します。
2. シート3
 - ・設備別機能診断準備シートに移動します。
 - ※カルテシート-2 を入力し、不具合設備・資機材を抽出済みの場合のみ使用します。(次項の説明参照)
3. 戻る
 - ・設備種類・設備数入力画面に戻ります。

(その他機能)

- ソートボタン
- ・設備リストを設備 No.の昇順に並び替えることができます。

⑦ 準備シートに入力した各設備について、カルテシート-2に必要項目を入力

設備別機能評価・診断

カルテシート-2A、2B 入力画面

●カルテシート-2A(取水機、取水塔・取水門、取水管渠、取水栓) ●カルテシート-2B(取水機、取水塔・取水門、取水管渠、取水栓)

入力 完

| | | | | | |
|--------|-----------|-------|---------|-----------|------|
| 設備 No: | NO.001 | 系: | 第1浄水場系① | 系統 ID: | 01 |
| 担当者: | JWRC | 施設 名: | 取水施設 | Plant ID: | 0001 |
| 年月日: | 2011/3/28 | 対象設備: | 第1取水場 | | |
| 設備名称: | 自動除塵機 | 経過年度: | 30年 | | |

[選択欄] [入力欄]

| 分類 | 設 問 | 評価区分 | 判定点 | 評価点 | 記 事 (判定理由等を記入) |
|----|---|---|-----|-----|-------------------|
| 水質 | 1 以前に比べて、水源水質が悪化傾向を示すなどの問題はありますか？ | ○：該当なし ◎：ほとんど問題ない ●：一部に問題があるが、支障を生じるほどの問題ではなく、気にならない ○：一部に問題があり、運転管理上、気になることがある。又は【不明の】 ○：多くの問題があり、運転管理上、不安を感じる | 2 | a | |
| | 2 湖沼・ダム道から取水する場合には、取水口の深さを変える選投取水設備によって良質な湧水が得られるか？ | ○：該当なし ◎：ほとんど問題ない ●：一部に問題があるが、支障を生じるほどの問題ではなく、気にならない ○：一部に問題があり、運転管理上、気になることがある。又は【不明の】 ○：多くの問題があり、運転管理上、不安を感じる | 2 | b | |
| | 3 水質汚染事故や水質悪化又は後継設備の故障・整備による運転停止に備えて、取水を確実に停止する構造・設備となっているか？ | ○：該当なし ◎：ほとんど問題ない ●：一部に問題があるが、支障を生じるほどの問題ではなく、気にならない ○：一部に問題があり、運転管理上、気になることがある。又は【不明の】 ○：多くの問題があり、運転管理上、不安を感じる | 2 | c | |
| | 4 特別な事項(内容を記入) | ○：該当なし ◎：ほとんど問題ない ●：一部に問題があるが、支障を生じるほどの問題ではなく、気にならない ○：一部に問題があり、運転管理上、気になることがある。又は【不明の】 ○：多くの問題があり、運転管理上、不安を感じる | 3 | e | |

<Menu>

登録 ※入力データをデータベースに保存します。

登録データ呼出 ※登録済みのデータを呼び出します。

シート3 ※後継診断準備シートへ移動します。

印刷 ※シートを印刷します。

戻る ※機能評価準備シートに戻ります。

カルテシート-2B(集水埋管、浅井戸、深井戸) [シート3へ追加]

| No./Check | 原因設備・資機材・パーツ名 | 不具合の症状と考えられる理由 | 種別 | 備考欄 |
|---------------------------------------|---------------------------|----------------------|-------|-----|
| 1 <input checked="" type="checkbox"/> | 浅井戸 クリプト対策未実施(水質 No.2:1点) | 指標菌検出のおそれ、クリプト対策設備なし | 土木構造物 | |
| 2 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 3 <input type="checkbox"/> | | | | |

操作手順

- ① カルテシート-2A に必要項目を入力します。
- ② カルテシート-2B に 2A の各設問で 1 点以下となった原因の設備・資機材等を書き出します。
- ③ カルテシート-3 で機能診断を行いたい項目のチェックボックスをクリックし、「シート3へ追加」のボタンをクリックします。
※設備別機能診断準備シートに対象設備、資機材等が登録されます。
- ④ <Menu> の「登録」ボタンをクリックします。
※「登録」によりデータベースに入力結果が登録されます。
- ⑤ 入力作業終了後、<Menu> の「戻る」ボタンをクリックします。
※「戻る」により、機能評価準備シートに戻るため、その他の設備についても、①～⑤の作業を繰り返し行います。

<登録済みの入力結果を編集する場合>

- ⑥ <Menu> の「登録データ呼出」ボタンをクリックします。

| (機能説明) | |
|------------|--|
| 1. 登録 | <ul style="list-style-type: none"> 入力結果をデータベースに登録します。 |
| 2. 登録データ呼出 | <ul style="list-style-type: none"> 前回入力分を呼出したい場合又は修正したい場合に使用します。前回入力したデータの該当年度を入力することによって、データベースから登録済みの入力結果を再表示できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>設備No入力 ✕</p> <p>呼び出したい設備のNoを「整数」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>西暦入力 ✕</p> <p>読み込むデータの年度を「西暦」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0; text-align: center;">2011</div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div> </div> <p>※必要項目が類似している場合に、その他の設備の入力結果をコピーすることもできます。</p> |
| 3. シート3 | <ul style="list-style-type: none"> 設備別機能診断準備シートに移動します。 |
| 4. 印刷 | <ul style="list-style-type: none"> カルテシート-2を印刷します。 |
| 5. 戻る | <ul style="list-style-type: none"> 設備別機能評価準備シートに戻ります。 |
| (その他機能) | |
| シート3へ追加 | <ul style="list-style-type: none"> 設備別機能診断準備シートに対象設備、資機材等が登録されます。 |
| Del ボタン | <ul style="list-style-type: none"> 特別な事項を間違えて選択した場合に、ラジオボタンのチェックを削除できます。 |

⑧ カルテシート-2 の評価結果を整理し、カルテシート-3 準備シートに移動

設備別機能評価・診断

設備別機能評価準備シート入力画面

● 設備評価準備シート (※ カルテシート2作成用)

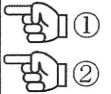
入力欄

| シート 設備 | 系統名 | 設備区分 | 設備名称 | 入力判定 | 水質 | 水量・水圧 | 経年劣化 | 地震・危機管理 | 維持管理 |
|-----------|---------|---------|---------|------|-----|-------|------|---------|------|
| NO.001 | 第1浄水場系① | 取水施設 | 自動除塵機 | 完 | 65 | 75 | 45 | 45 | 50 |
| NO.002 | 第1浄水場系① | 井戸集水埋管 | 洗井戸 | 完 | 45 | 60 | 65 | 50 | 50 |
| NO.003 | 第1浄水場系① | 沈砂池 | 沈砂池 | 完 | 70 | 25 | 70 | 60 | 75 |
| NO.004 | 第1浄水場系① | 着水井 | 着水井 | 完 | 60 | 65 | 50 | 65 | 65 |
| NO.005 | 第1浄水場系① | 凝集剤薬注 | 薬注設備 | 完 | 45 | 70 | 70 | 65 | 55 |
| NO.006 | 第1浄水場系① | 凝集池 | フロック形成池 | 完 | 50 | 65 | 65 | 65 | 60 |
| NO.007 | 第1浄水場系① | 沈着池 | 薬品沈殿池 | 完 | 50 | 65 | 65 | 65 | 55 |
| NO.008 | 第1浄水場系① | 急速ろ過池 | 急速ろ過池 | 完 | 50 | 60 | 65 | 65 | 60 |
| NO.009 | 第1浄水場系① | 緩速ろ過池 | 緩速ろ過池 | 完 | 25 | 65 | 65 | 65 | 55 |
| NO.010 | 第1浄水場系① | 膜ろ過 | 膜ろ過設備 | 完 | 50 | 70 | 75 | 100 | 60 |
| NO.011 | 第1浄水場系① | 浄水池 | 浄水池 | 完 | 60 | 65 | 65 | 50 | 55 |
| NO.012 | 第1浄水場系① | 消毒設備 | 消毒設備 | 完 | 25 | 65 | 65 | 25 | 55 |
| NO.013 | 第1浄水場系① | エアレーション | 曝気設備 | 完 | 60 | 50 | 65 | 65 | 75 |
| NO.014 | 第1浄水場系① | 粉末活性炭 | 粉末活性炭設備 | 完 | 100 | 100 | 100 | 50 | 75 |
| NO.015 | 第1浄水場系① | 粒状活性炭 | 粒状活性炭設備 | 完 | 65 | 50 | 100 | 75 | 70 |
| NO.016 | 第1浄水場系① | オゾン | オゾン処理設備 | 完 | 65 | 65 | 65 | 50 | 65 |
| NO.017 | 第1浄水場系① | 生物処理 | 生物処理設備 | 完 | 100 | 50 | 70 | 100 | 65 |
| NO.018 | 第1浄水場系① | 排水池 | 排水池 | 完 | 60 | 50 | 65 | 65 | 100 |
| NO.019 | 第1浄水場系① | 濃縮槽 | 濃縮槽 | 完 | 70 | 50 | 75 | 70 | 60 |
| NO.020 | 第1浄水場系① | 天日乾燥床 | 天日乾燥床 | 完 | 70 | 25 | 65 | 70 | 70 |
| NO.021 | 第1浄水場系① | 脱水設備 | 脱水設備 | 完 | 50 | 75 | 70 | 75 | 70 |
| NO.022 | 第1浄水場系① | 配水池 | 配水池 | 完 | 50 | 70 | 65 | 100 | 75 |
| NO.023 | 第1浄水場系① | ポンプ設備 | 送水ポンプ設備 | 完 | 75 | 50 | 65 | 100 | 65 |
| NO.024 | 第1浄水場系① | 変電設備 | 変電設備 | 完 | 100 | 75 | 25 | 50 | 60 |
| NO.025 | 第1浄水場系① | 自家発電設備 | 自家発電設備 | 完 | 75 | 100 | 50 | 60 | 65 |
| NO.026 | 第1浄水場系① | 動力制御 | 動力設備 | 完 | 75 | 75 | 70 | 50 | 65 |
| NO.027 | 第1浄水場系① | 計装 | 計装設備 | 完 | 100 | 75 | 75 | 25 | 65 |
| NO.028 | 第1浄水場系① | 監視制御 | 監視制御設備 | 完 | 50 | 65 | 65 | 60 | 65 |
| NO.029 | 第1浄水場系① | 場内配管 | 場内配管 | 完 | 75 | 70 | 25 | 70 | 70 |
| NO.030 | 第2浄水場系 | 取水施設 | 自動除塵機 | 完 | 65 | 75 | 45 | 45 | 50 |
| 予備欄 | | | | | | | | | |
| 記入例 | 浄水場系第-1 | 配水池 | 第1配水池 | 完 | | | | | |

結果表示 ※評価結果を表示します。

シート3 ※準備シート(カルテ3)に移動します。

戻る ※設備種類・設備数入力画面に戻ります。



※評価を開始する設備を整数で入力して下さい。

NO.001

評価開始 ※カルテシート2を作成します。

操作手順

- ① 「結果表示」をクリックします。
※「結果表示」により、カルテシート-2 の入力結果を表示又は更新します。
- ② 「シート3」をクリックします。
※設備別機能診断準備シートに移動します。

(機能説明)

| | |
|---------|--|
| 1. 結果表示 | ・カルテシート-2 の入力結果を表示又は更新します。 |
| 2. シート3 | ・設備別機能診断準備シートに移動します。(※カルテシート-2 を入力し、不具合設備・資機材が抽出された場合のみ使用) |
| 3. 戻る | ・設備種類・設備数入力画面に戻ります。 |

(その他機能)

| | |
|--------|--------------------------|
| ソートボタン | ・設備を設備 No.で昇順に並び替えができます。 |
|--------|--------------------------|

※カルテシート-2 のまとめ方の例が、「水道施設機能診断マニュアル」の P100～に記載されています。

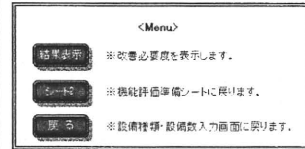
⑨ カルテシート-3 準備シートからカルテシート-3 入力画面に移動

設備別機能評価・診断

設備別機能診断準備シート画面

● 設備別機能診断準備シート（※ カルテシート3作成用）

| 不具合 | 系統名 | 設備名称 | 種別 | 設備NO | 原因設備・資機材・パーツ名 | 不具合の理由 | 改善必要度 |
|------|---------|---------|-------|--------|-------------------------------|--------------------------|-------|
| 0001 | 第1浄水場系① | 自動除塵機 | 機電設備 | NO.001 | 取水機 自動除塵機(経年劣化 No.3:1点) | 時々動作不良、交換部品製造中止 | 59.2 |
| 0002 | 第1浄水場系① | 洗井弁 | 土木構造物 | NO.002 | 洗井弁 クリカ対策実施(水質 No.2:1点) | 指標値検出のみで、クリカ対策実施 | 64 |
| 0003 | 第1浄水場系① | 沈砂池 | 土木構造物 | NO.003 | 式砂池 予備部材(水量・水圧 No.2:0点) | 予備部材の不足による、毎時継続的の増設が実施 | 29.6 |
| 0004 | 第1浄水場系① | 着水井 | 管路 | NO.004 | 着水井 流入管(経年劣化 No.1:1点) | 流入管の管体接続部で少量の漏水 | 21.6 |
| 0005 | 第1浄水場系① | 薬注設備 | 機電設備 | NO.005 | 薬注設備 貯薬剤注入設備(水質 No.1:1点) | 1~3日/年程度の薬量削減による薬量不足 | 21.6 |
| 0006 | 第1浄水場系① | フロック形成池 | 機電設備 | NO.006 | 凝集池 攪拌機(水質 No.1:1点) | 攪拌機の能力低下による攪拌強度不足 | |
| 0007 | 第1浄水場系① | 薬品沈殿池 | 土木構造物 | NO.007 | 横流式沈殿池(水質 No.1:1点) | 密着流発生による薬量のキャリーオーバー | |
| 0008 | 第1浄水場系① | 急速ろ過池 | 土木構造物 | NO.008 | 急速ろ過池 ろ過砂・異水設置(水質 No.1:1点) | ろ過砂・異水設置によるろ過水質低下(1点) | |
| 0009 | 第1浄水場系① | 緩速ろ過池 | 土木構造物 | NO.009 | 緩速ろ過池 経年劣化(水質 No.1:0点) | 経年のひび割れから漏水あり(目視で確認) | |
| 0010 | 第1浄水場系① | 膜ろ過設備 | 機電設備 | NO.010 | 膜ろ過設備 異部対策(水質 No.2:1点) | 事先のカビ発生に対応できない | |
| 0011 | 第1浄水場系① | 浄水池 | 土木構造物 | NO.011 | 浄水池 配管(地震・危機管理 No.1:1点) | 耐震性不明(耐震診断未実施) | |
| 0012 | 第1浄水場系① | 消毒設備 | 土木構造物 | NO.012 | 消毒設備 防漏管(地震・危機管理 No.3:0点) | 防液堤未設置 | |
| 0013 | 第1浄水場系① | 曝気設備 | 機電設備 | NO.013 | 曝気設備 曝気ポンプ(水量・水圧 No.2:1点) | ポンプ目詰りによる曝気の発生 曝気効率の低下 | |
| 0014 | 第1浄水場系① | 未活性炭吸着器 | 機電設備 | NO.014 | 粉状炭投入装置 動態形炭(水量・危機管理 No.4:0点) | 動態形炭の減少、作業上の大きな負担が伴う | |
| 0015 | 第1浄水場系① | 活性炭吸着器 | 機電設備 | NO.015 | 粉状炭投入装置 活性炭層(水量 No.2:1点) | 活性炭層の減少によるろ過不良、処理量低下 | |
| 0016 | 第1浄水場系① | オゾン処理設備 | 機電設備 | NO.016 | オゾン処理設備 オゾン濃度計(危機管理 No.2:1点) | オゾン濃度計感度不良 | |
| 0017 | 第1浄水場系① | 生物処理設備 | 機電設備 | NO.017 | 生物処理設備 曝気設備(水量・水圧 No.3:1点) | 排泥ポンプからの排泥が困難な場合がある | |
| 0018 | 第1浄水場系① | 排水池 | 機電設備 | NO.018 | 排水池 返送ポンプ(水量 No.2:1点) | 排水池への返送ポンプの稼働停止、排水が滞る | |
| 0019 | 第1浄水場系① | 濃縮槽 | 機電設備 | NO.019 | 濃縮槽 上澄み排出設備(水量 No.3:1点) | 濃縮槽による上澄み排出で、量の調整ができない | |
| 0020 | 第1浄水場系① | 天日乾燥床 | 土木構造物 | NO.020 | 天日乾燥床 ろ布(水量 No.3:1点) | ろ布摩耗の減少、支持床の目詰まり | |
| 0021 | 第1浄水場系① | 脱水設備 | 機電設備 | NO.021 | 脱水設備 加圧排水ポンプ(水量 No.3:1点) | ろ布の目詰りによる脱水不良 | |
| 0022 | 第1浄水場系① | 配水池 | 機電設備 | NO.022 | 配水池 遠送給水ポンプ(水質 No.3:1点) | ポンプの故障による給水の停止 | |
| 0023 | 第1浄水場系① | 送水ポンプ設備 | 機電設備 | NO.023 | ポンプ設備 送水ポンプ(水量・水圧 No.3:1点) | 経年化によるキャビテーションの発生 | |
| 0024 | 第1浄水場系① | 変電設備 | 機電設備 | NO.024 | 変電設備 計測用電力(地震・危機管理 No.3:0点) | 地震時の電力供給が停止する | |
| 0025 | 第1浄水場系① | 自家発電設備 | 機電設備 | NO.025 | 自家発電設備 発電機(経年劣化 No.3:1点) | 一部の発電機部品の製造中止、入手困難 | |
| 0026 | 第1浄水場系① | 動力設備 | 機電設備 | NO.026 | 動力設備 動力配電盤(危機管理 No.3:0点) | 動力配電盤の故障によるポンプの稼働停止 | |
| 0027 | 第1浄水場系① | 計装設備 | 機電設備 | NO.027 | 計装設備 濃縮槽(水量・危機管理 No.4:0点) | 濃縮槽の稼働停止によるろ過不良 | |
| 0028 | 第1浄水場系① | 監視制御設備 | 機電設備 | NO.028 | 監視制御設備 薬品注入装置(水質 No.1:1点) | 機器の故障による薬品注入の停止 | |
| 0029 | 第1浄水場系① | 場内配管 | 管路 | NO.029 | 場内配管 A系統(経年劣化 No.2:0点) | 腐食管(口径400mm、布設後48年)の経年劣化 | |
| 0030 | 第2浄水場系 | 自動除塵機 | 機電設備 | NO.030 | 取水機 自動除塵機(経年劣化 No.3:1点) | 時々動作不良、交換部品製造中止 | 43.2 |



操作手順

- ① □枠にカルテシート-3の入力を行う不具合設備のNo. (整数) を入力し、「診断開始」をクリックします。
- ※「診断開始」により、カルテシート-3の入力シート画面に移動します。
- 種別によって3種類のシートに自動的に移動します。

(機能説明)

- 1. 結果表示
 - ・カルテシート-3の入力結果（改善必要度）を表示又は更新します。
- 2. シート2
 - ・設備別機能評価準備シートに戻ります。
- 3. 戻る
 - ・設備種類・設備数入力画面に戻ります。

※設備別機能診断の実施手順等は、「水道施設機能診断マニュアル」の P112～に記載されています。

⑩ カルテシート-3に必要項目を入力

設備別機能評価・診断

カルテシート-3 入力シート画面

● カルテシート3(機械・電気計装)
カルテシート-3((機械・電気計装)

入力 閉

設備コード: NO.001
担当者: JWCRC
年月日: 平成23年3月28日
施設名称: 自動除塵機

系統: 第1浄水場系1)
不具合No.: 0001
原因・パーク: 取水機 自動除塵機(昭和倉庫 No.31庫)
不具合理由: 時々動作不良、交換部品製造中止

系統ID: 01
Plant ID: 0001

選択欄 入力欄

| 分類 | 判定項目 | 判定区分 | 判定点 | 改善 必要度 (判定理由等を記入) | 記事 |
|----------|-----------------------------------|---|-----|-------------------------|------|
| 影響 範囲 | 規模 影響を受ける給水件数 | <input checked="" type="radio"/> : 運転管理、給水等に致命的な影響を与える。 <input type="radio"/> : 運転管理、給水等に重大な影響を与える。 <input type="radio"/> : 運転管理、給水等に影響を与える可能性がある。 <input type="radio"/> : 運転管理、給水等への影響は小さい又は無視できる。 | 4 | | |
| | 影響 対象設備の施設全体に与える影響 | <input checked="" type="radio"/> : 運転管理、給水等に致命的な影響を与える。 <input type="radio"/> : 運転管理、給水等に重大な影響を与える。 <input type="radio"/> : 運転管理、給水等に影響を与える可能性がある。 <input type="radio"/> : 運転管理、給水等への影響は小さい又は無視できる。 | 4 | | |
| | 重要 度 A 健康・生活影響 (判定事例) | <input checked="" type="radio"/> : 原因設備の不具合により、需要者に急激又は深刻な健康被害を与えるおそれがある。 <input checked="" type="radio"/> : 原因設備の不具合により、需要者に健康被害を与えるおそれがある。 <input type="radio"/> : 原因設備の不具合により、需要者の生活上、支障をきたすおそれがある。 <input type="radio"/> : 健康・生活影響はない。 | 3 | 3.7 | |
| | 重要 度 B 社会的影響 | <input checked="" type="checkbox"/> : 地域防災計画等に位置づけられた病院など、災害時の拠点医療施設への影響がある (例: 減断水・停断水等に伴う医療活動の困難さなど) <input checked="" type="checkbox"/> : 防災拠点、避難所、応急給水拠点など被災後の対応活動の拠点となる施設への影響がある (例: 減断水・停断水等に伴う緊急用水確保の困難さなど) <input checked="" type="checkbox"/> : 行政支庁機関など、都市機能を支える重要施設に悪影響を及ぼす (例: 減断水に伴う冷房停止による電気計装機の機能障害など) <input type="checkbox"/> : 工場や生産施設など、地域の経済活動を支える重要施設・大口需要者に悪影響を及ぼす (例: 減断水・停断水等に伴う冷却水や原料水の停止による運転停止・生産停止) (後継停止してから正常運転に回復するまでには長期間を要する。支障期間が長い。) <input type="checkbox"/> : | 4 | | 59.2 |

<Menu>

登録 ※入力データをデータベースに保存します。

登録データ呼出 ※登録済みのデータを確認します。

印刷 ※シートを印刷します。

戻る ※機能診断準備シートに戻ります。

操作手順

- ① 必要項目を入力します。
- ② <Menu> の「登録」ボタンをクリックします。
※「登録」によりデータベースに入力結果が登録されます。
- ③ 入力作業終了後、<Menu> の「戻る」ボタンをクリックします。
※「戻る」により、設備別機能診断準備シート画面に戻るため、他の不具合についても、①～③の作業を繰り返し行います。

<登録済みの入力結果を編集する場合>

- ④ <Menu> の「登録データ呼出」ボタンをクリックします。

| (機能説明) | |
|------------|--|
| 1. 登録 | <ul style="list-style-type: none"> 入力結果をデータベースに登録します。 |
| 2. 登録データ呼出 | <ul style="list-style-type: none"> 前回入力分を呼出したい場合又は修正したい場合に使用します。前回入力した入力結果の年度を入力することによって、データベースから登録済みの入力結果を再表示できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>不具合入力 ✕</p> <p>呼び出したい不具合を「整数」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>西暦入力 ✕</p> <p>読み込むデータの年度を「西暦」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0; text-align: center;">2011</div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div> </div> <p>※必要項目が類似している場合に、その他の不具合の入力結果をコピーすることもできます。</p> |
| 3. 印刷 | <ul style="list-style-type: none"> カルテシート-3 を印刷します。 |
| 4. 戻る | <ul style="list-style-type: none"> 設備別機能診断準備シートに戻ります。 |
| (その他機能) | |
| 判定事例ボタン | <ul style="list-style-type: none"> 重要度 A を判定するための、判定事例を表示します。 |

① カルテシート-3の評価結果を整理し、ソート機能による並び替え

設備別機能評価・診断

設備別機能診断準備シート画面

②

● 設備別機能診断準備シート(※カルテシート3作成時)

| 不具合 | 系統名 | 設備名称 | 種別 | 設備NO | 原因設備・資機材・パーツ名 | 不具合の理由 | 改善必要度 |
|------|---------|---------|-------|--------|----------------------------|----------------------------|-------|
| 0001 | 第1浄水場系① | 自動除塵機 | 機電設備 | NO.001 | 取水機 自動除塵機(経年劣化 No.3:1点) | 時々動作不良、交換部品製造中止 | 59.2 |
| 0002 | 第1浄水場系① | 浅井戸 | 土木構造物 | NO.002 | 浅井戸 クリプト対策未実施(水質 No.2:1点) | 指標警検出のおそれ、クリプト対策実施なし | 64 |
| 0003 | 第1浄水場系① | 沈砂池 | 土木構造物 | NO.003 | 沈砂池 手洗い池(水量・水圧 No.2:0点) | 手洗い池・パイプが腐食が激しく、汚濁曝露の被害が頻発 | 29.6 |
| 0004 | 第1浄水場系① | 蓄水井 | 管路 | NO.004 | 蓄水井 流入管(経年劣化 No.1:1点) | 流入管の躯体接続部で少量の漏水 | 21.6 |
| 0005 | 第1浄水場系① | 薬注設備 | 機電設備 | NO.005 | 薬注設備 薬液剤注入設備(水質 No.1:1点) | 1号/2号/本館側の薬液剤に薬剤剤の注入量が少ない | 21.6 |
| 0006 | 第1浄水場系① | フロック形成池 | 機電設備 | NO.006 | 凝集池 攪拌機(水質 No.1:1点) | 攪拌機の能力低下による攪拌強度不足 | |
| 0007 | 第1浄水場系① | 薬品沈殿池 | 土木構造物 | NO.007 | 横流式沈殿池(水質 No.1:1点) | 定常風発生による濁度のキョリオーバー | |
| 0008 | 第1浄水場系① | 急流ろ過池 | 土木構造物 | NO.008 | 急流ろ過池 ろ過砂 無水装置(水質 No.1:1点) | ろ過砂・支持基の劣化による無水装置(ろ過) | |
| 0009 | 第1浄水場系① | 緩速ろ過池 | 土木構造物 | NO.009 | 緩速ろ過池 緩速(経年劣化 No.1:0点) | 緩速のひび割れから濁りあり(目視で箇所) | |
| 0010 | 第1浄水場系① | 順ろ過設備 | 機電設備 | NO.010 | 順ろ過設備 臭気対策(水質 No.2:1点) | 事先のカビ臭発生に対応できない | |
| 0011 | 第1浄水場系① | 浄水池 | 土木構造物 | NO.011 | 浄水池 超体(地震・危機管理 No.1:1点) | 耐震性不明(耐震診断未実施) | |
| 0012 | 第1浄水場系① | 消毒設備 | 土木構造物 | NO.012 | 消毒設備 消毒薬(地震・危機 No.3:0点) | 防波堤未設置 | |
| 0013 | 第1浄水場系① | 曝気設備 | 機電設備 | NO.013 | エアレーション 曝気(水量・水圧 No.2:1点) | エアレーションによる濁度の発生、曝気量の低下 | |
| 0014 | 第1浄水場系① | 活性炭吸着装置 | 機電設備 | NO.014 | 活性炭吸着装置 吸着剤(水量・水圧 No.4:0点) | 活性炭の吸着剤に、作業上の劣化が認められている | |
| 0015 | 第1浄水場系① | 活性炭吸着装置 | 機電設備 | NO.015 | 活性炭吸着装置 活性炭(水量 No.3:1点) | 活性炭の吸着剤の劣化によるろ上汚染、処理量低下 | |
| 0016 | 第1浄水場系① | オゾン処理設備 | 機電設備 | NO.016 | オゾン処理設備 1号(水量・水圧 No.2:1点) | オゾン濃度計感度不良 | |
| 0017 | 第1浄水場系① | 生物処理設備 | 機電設備 | NO.017 | 生物処理設備 曝気設備(水量・水圧 No.3:1点) | 曝気ポンプからの排泥が定期的な場合がある | |
| 0018 | 第1浄水場系① | 排水池 | 機電設備 | NO.018 | 排水池 逆送ポンプ(水量 No.2:1点) | 排水池への逆送ポンプの容量不足、排水時に排水の逆流 | |
| 0019 | 第1浄水場系① | 濃縮槽 | 機電設備 | NO.019 | 濃縮槽 上澄み排水設備(水量 No.3:1点) | 固定槽による上澄み排水時、量の調整ができない | |

①

<Menu>

結果表示 ※改善必要度を表示します。

昇 ※機能評価準備シートに戻ります。

降 ※設備種類・設備数入力画面に戻ります。

※ 評価を開始する番号を整数で入力して下さい。

不具合-0008

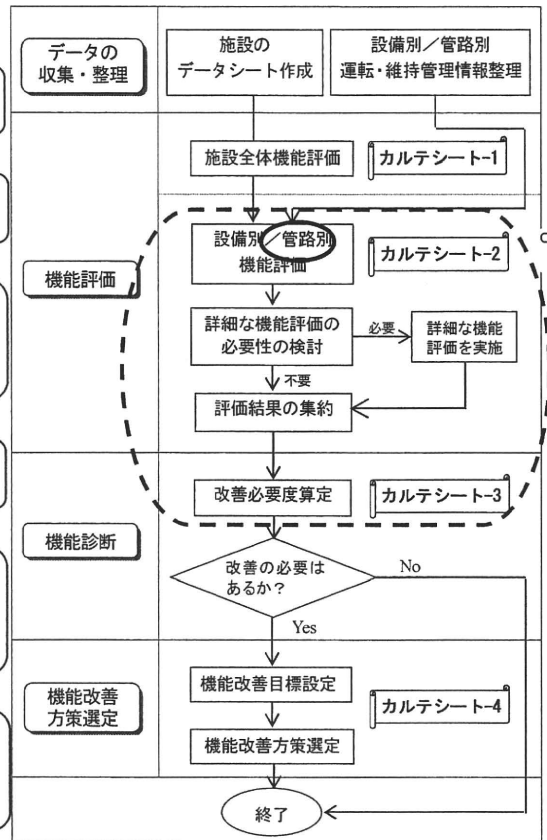
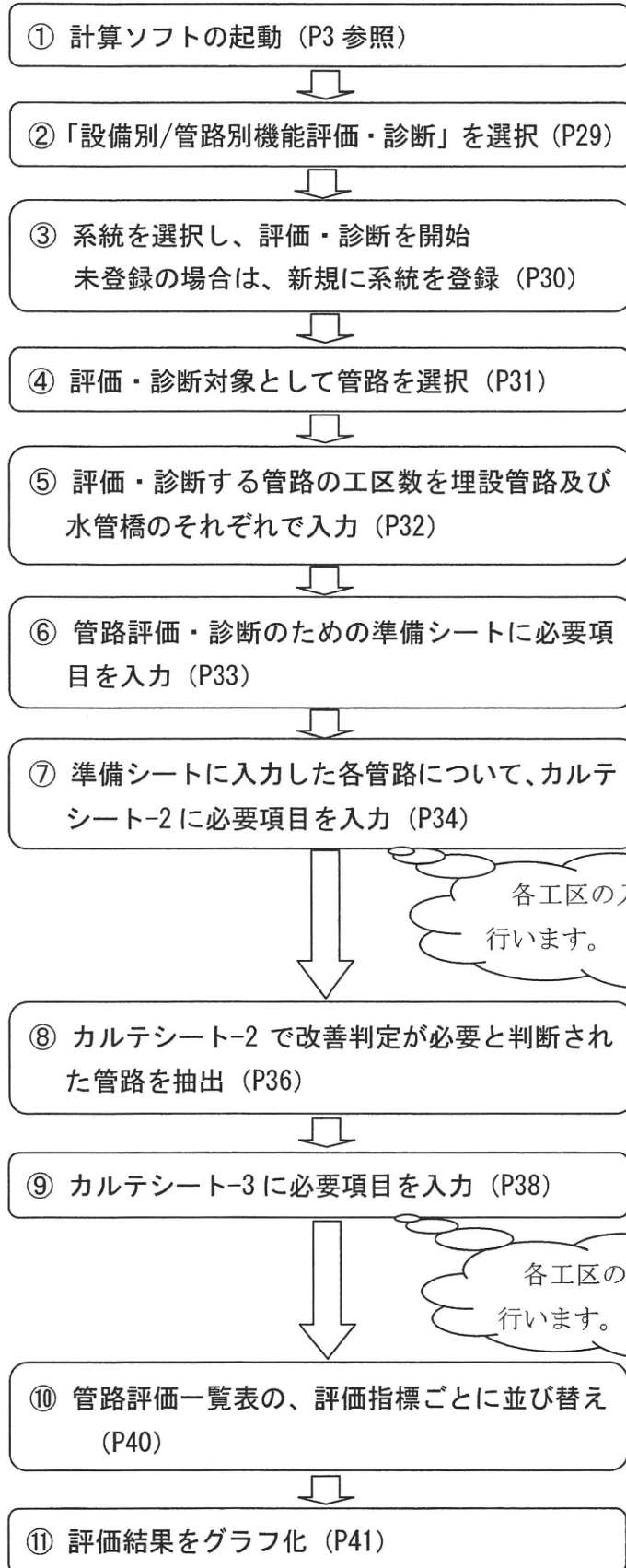
診断開始 ※カルテシート3を作成します。

操作手順

- ① 「結果表示」をクリックします。
- ※ 「結果表示」により、カルテシート-3の入力結果を表示又は更新します。
- ② 「昇」、「降」ボタンをクリックします。
- ※ 「昇」、「降」により、各項目でソートすることができます。

※改善必要度と改善の優先順位については、「水道施設機能診断マニュアル」の P112 に記載されています。

3-2. 管路別機能評価・診断



各工区の入力を繰り返
行います。

各工区の入力を繰り返
行います。

- ① 計算ソフトの起動は P3 参照
 ② 「設備別/管路別機能評価・診断」を選択

| 管路別機能評価・診断 | |
|-----------------------|--|
| メインメニュー画面 | |
| 操作手順 | <p>① システムを起動すると、上のメインメニュー画面が自動で表示されます。</p> <p>② 「設備別/管路別機能評価・診断」をクリックします。 ※系統選択画面へ移動</p> |
| (機能説明) | |
| 1. 全体機能評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体機能評価を開始します。 ※系統選択画面へ移動します。 |
| 2. 設備別/管路別 機能評価・診断 | <ul style="list-style-type: none"> ・設備別/管路別機能評価・診断を開始します。 ※系統選択画面へ移動します。 |
| 3. 終了 | <ul style="list-style-type: none"> ・保存して終了します。 ※「変更を保存しますか？」のメッセージが表示されます。 ・変更がなければ、そのままシステムを終了します。 ※ エクセルブックの終了 |

※管路別機能評価及び機能診断の詳細は、「水道施設機能診断マニュアル」の P85～、P120～に記載されています。

③ 系統を選択し、評価・診断を開始、未登録の場合は、新規に系統を登録

| 管路別機能評価・診断 | |
|------------|---|
| 系統選択画面 | |
| 操作手順 | <p>① 系統リストから診断対象の系統を選択し、評価・診断開始をクリックします。</p> <p>※「評価・診断対象選択画面」に移動します。</p> <p>② 系統リストに系統を追加するときは「※新規系統の作成・追加」のテキストボックスに系統名記入し、「追加」をクリックします。</p> <p>(※初回は入力必須)</p> |
| (機能説明) | |
| 1. 評価・診断開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・選択した系統の設備別／管路別機能評価を開始します。 ※「〇〇系統の診断を開始します」のメッセージが表示されます。 |
| 2. 戻る | <ul style="list-style-type: none"> ・メインメニュー画面に戻ります。 |
| 3. 編集 | <ul style="list-style-type: none"> ・系統名を編集できます。 |
| 4. 追加 | <ul style="list-style-type: none"> ・新規系統の作成・追加に入力した系統を系統リストに追加します。 既に同じ名称の系統がある場合は追加できません。 ※「その系統は既に登録されています」のメッセージが表示されます。 |

④ 評価・診断対象として管路を選択

| 管路別機能評価・診断 | |
|-----------------|--|
| 評価・診断対象 選択画面 | |
| 操作手順 | <p>①管路別のラジオボタンにチェックを入れ、「選択」をクリックします。</p> <p>※ラジオボタンのチェック (画面中の「○」をクリックします。選択肢のうち1つのみ選択可能)</p> |
| (機能説明) | |
| 1. 選択 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備数又は管路工区数の入力画面へ移動します。 ○設備別 ○管路別 |
| 2. 戻る | <ul style="list-style-type: none"> ・ 系統選択画面へ戻ります |

⑤ 評価・診断する管路の工区数を埋設管路及び水管橋のそれぞれで入力

| 管路別機能評価・診断 | |
|------------------------|--|
| <p>管路工区数の 入力画面</p> | |
| <p>操作手順</p> | <p>① 管路の評価・診断工区数及び水管橋の評価・診断工区数をそれぞれ入力します。 ※半角数字で直接入力するか、スピンのボタンで数値を加減します。 ※スピンのボタン▲ (+1)、▼ (-1), デフォルト値 (0)</p> <p>② 新規の場合に選択します。</p> <p>③ 評価・診断する工区番号 (最小値) を入力します。 (この作業の注意点である P19 の (注) を必読してください)</p> <p>④ 登録済みの入力結果を編集します。</p> |
| (機能説明) | |
| <p>1. 新規管路追加</p> | <p>・ 管路別機能評価準備シートへ移動し、入力した工区数に応じて評価シートを作成します。 ※管路別機能評価準備シートに入力した工区数分だけ、行が追加されます。</p> |
| <p>2. 登録管路編集</p> | <p>・ 管路別機能評価準備シートへ移動し、登録済みの入力結果を編集します。</p> |
| <p>3. 戻る</p> | <p>・ 評価・診断対象施設選択画面へ戻ります。</p> |

※管路別機能評価の実施内容は、「水道施設機能診断マニュアル」の P86～に記載されています。

ます。

⑥ 管路評価・診断のための準備シートに必要な項目を入力

管路別機能評価・診断

管路別機能評価準備シート入力画面

● 管路別機能評価準備シート (※カルテシート2用) 別表(耐震) 別表(老朽) 選択欄 入力欄 2011/3/28

| ソート 管路 | 系統名 | 管路形態 リストから選択 | 別表(耐震) | | 別表(老朽) | | 台帳No. 任意 | 用途区分 任意 | 管種 任意 | 継手 任意 | 口径 | 経過年数 任意 |
|-----------|---------|-----------------|------------|-----|------------|-----|-------------|------------|----------|----------|-----|------------|
| | | | 耐震性 判定点 | 判定点 | 老朽度 判定点 | 判定点 | | | | | | |
| 工区-001 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 2 | 2 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 配水管 | DCIP | K形 | 300 | 10~20 |
| 工区-002 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 2 | 2 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 配水管 | DCIP | K形 | 300 | 10~20 |
| 工区-003 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 0 | 4 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 配水管 | ACP | 不明 | 300 | 30~40 |
| 工区-004 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 0 | 4 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 配水管 | ACP | 不明 | 300 | 30~41 |
| 工区-005 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 2 | 2 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 配水管 | DCIP | K形 | 300 | 10~20 |
| 工区-006 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 2 | 1 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 配水管 | DCIP | K形 | 300 | 20~30 |
| 工区-007 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 2 | 2 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 送水管 | DCIP | K形 | 300 | 10~20 |
| 工区-008 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 2 | 3 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 送水管 | CIP | A形 | 300 | 20~30 |
| 工区-009 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 3 | 3 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 送水管 | CIP | 不明 | 300 | 20~31 |
| 工区-010 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 2 | 2 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 送水管 | DCIP | 不明 | 300 | 10~20 |
| 工区-011 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 2 | 4 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 送水管 | ACP | 不明 | 300 | 30~40 |
| 工区-012 | 第1浄水場系① | 埋設管 | 2 | 2 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 送水管 | DCIP | 不明 | 300 | 10~20 |
| 工区-013 | 第1浄水場系① | 水管橋 | 2 | 3 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 配水管 | CIP | 不明 | 150 | 20~30 |
| 工区-014 | 第1浄水場系① | 水管橋 | 2 | 1 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 配水管 | DCIP | 不明 | 150 | 10~20 |
| 予備欄 | | | | | | | | | | | | |
| 記入例 | 浄水場系統-1 | 埋設管 | 0 | 3 | 1 | 1 | 国道1号線-1 | 送水管 | DCIP | 不明 | 200 | 10~20 |

<Menu>

結果一覧 ※評価結果一覧シートを表示します。

戻る ※メインメニュー画面に戻ります。

※評価を開始する工区を整数で入力して下さい。

工区-001

評価開始 ※管路評価シート2を作成します。

操作手順

- ① 分かる範囲で台帳 No.等の任意データを入力します。
- ② 別表を利用し、「耐震性判定点」、「老朽度判定点」を入力します。
- ③ □枠にカルテシート-2 の入力を行う工区 No. (整数)を入力し、「評価開始」をクリックします。

※「評価開始」により。カルテシート-2 の入力画面に移動します。

(機能説明)

| | |
|---------|--------------------------|
| 1. 結果一覧 | ・ 評価・診断一覧表に移動します。 |
| 2. 戻る | ・ メインメニュー画面に戻ります。 |
| (その他機能) | |
| ソートボタン | ・ 工区リストを昇順に並び替えることができます。 |
| 別表ボタン | ・ 耐震性及び老朽度の表を表示します。 |

⑦ 準備シートに入力した各管路について、カルテシート-2に必要項目を入力

管路別機能評価・診断

カルテシート-2 入力画面

●シート2 管路別機能評価 <埋設管> <現行値> 入力値 配水管

| | | | |
|----|--|--|--|
| 入力 | 工区名: <input type="text" value="工区-001"/> 担当者: <input type="text" value="JWRC"/> 年月日: <input type="text" value="2011/3/28"/> 台帳 No: <input type="text" value="国道1号線-1"/> | 系統: <input type="text" value="第1浄水場系①"/> 管種: <input type="text" value="DCSP(K形)"/> 口径: <input type="text" value="φ300"/> 経過年度: <input type="text" value="10~20"/> | 系統ID: <input type="text" value="01"/> Pipe-ID: <input type="text" value="00001"/> |
|----|--|--|--|

| 分類 | No | 設問 | 評価区分 | 判定点 | 50点満点への換算 | 評点(点) |
|----|-----|---|---|-----|-----------|-------|
| 漏水 | A | 管(本体・継手)の漏水事故及び漏水修繕件数は? (第三者による破損等の場合は除く) | <input type="radio"/> : 1度もない <input type="radio"/> : 記録は残っていないが、分かっている範囲では事故はない <input checked="" type="radio"/> : 1度ある <input type="radio"/> : 複数ある | 1点 | 17点 | 42点 |
| | B.1 | 布設してからの経過年数は? | <input checked="" type="radio"/> : 20年未満 <input type="radio"/> : 20~39年、または「不明」 <input type="radio"/> : 40年以上 | 2点 | | |
| | B.2 | 金属管の場合は外面腐食対策、又は樹脂管の場合は必要な外面腐食対策(砕石等の突起による管体破損への対策)を行っているか? | <input type="radio"/> : 区間内すべて対策済み(市販リブ・外面塗装・電気防食等の腐食対策等) <input checked="" type="radio"/> : 一部箇所での対策がなされていない、又は【不明/該当なしの等者】 <input type="radio"/> : 全く対策をしていない | 1点 | | |
| | B.3 | 外部腐食や塩害など等の影響はないか? (管の上張りや管体は、基準値(72%)等の劣化対策に対応しているか?また、上張り・下張りや構造物取付部等の不平等下を空しやすい箇所、地盤・地質・経年等により地盤沈下等への対応がなされているか?) | <input type="radio"/> : ほとんど影響なし <input checked="" type="radio"/> : 一部影響の心配がある、又は【不明/該当なしの場合】 <input type="radio"/> : 影響の恐れが大きい | 1点 | 25点 | |
| 水質 | B.4 | 特別な事項 | <input type="radio"/> : ない (ほとんど問題なし) <input type="radio"/> : 記録には残っていないが、分かっている範囲で事故はない <input type="radio"/> : 普通 (問題が少ないう、大きな問題なし) <input type="radio"/> : 悪い (問題が多い) | 0点 | | |
| | A | この区間の管路が原因で洪水・漏水の発生、突発物(異物・シールコート)の混入、有機溶剤等による異臭線などの事故の発生があるか? | <input type="radio"/> : まったくない <input checked="" type="radio"/> : 記録には残っていないが、分かっている範囲で事故はない <input type="radio"/> : 1度ある <input type="radio"/> : 複数ある | 2点 | 33点 | |
| | B.1 | 他の区間に比べ、サブピップ等による残留塩素消費は標準に大きくないか? | <input type="radio"/> : まったく問題なし <input checked="" type="radio"/> : ある(特殊季節や異物の混入・一部区所(露出管柱)で問題がある、又は【不明/該当なし]) | 1点 | | |

<Menu>

入力データをデータベースに登録します。
 登録済みのデータを呼び出します。
 評価する工区を変更します。
 用シートを印刷します。
 ※ 履歴付き準備シートに戻ります。

(備考欄)

test

操作手順

- ① 必要項目を入力します。
- ② 備考欄に書きとめておきたいことを入力します。
- ③ <Menu> の「登録」ボタンをクリックします。
※「登録」によりデータベースに入力結果が登録されます。
- ④ <Menu> の「工区変更」ボタンをクリックします。
※「工区変更」により、評価する工区を変更できます。
※「工区変更」に対応できるのは、同種の管路のみです。(埋設管路を開いている場合は、埋設管路の工区のみ変更できます。)
- ⑤ 入力作業終了後、<Menu> の「戻る」ボタンをクリックします。
※「戻る」により、機能評価準備シートに戻るので、水管橋についても、①~⑤の作業を繰り返し行います。

<登録済みの入力結果を編集する場合>

- ⑥ <Menu> の「登録データ呼出」ボタンをクリックします。

| (機能説明) | |
|------------|--|
| 1. 登録 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力結果をデータベースに登録します。 |
| 2. 登録データ呼出 | <ul style="list-style-type: none"> ・前回入力分を呼出したい場合又は修正したい場合に使用します。前回入力した入力結果の年度を入力することによって、データベースから登録済みの入力結果を再表示できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">工区入力 ✕</p> <p>呼び出したい工区のNoを「整数」で入力して下さい。</p> <input style="width: 100%;" type="text"/> <p style="text-align: right;">OK キャンセル</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">西暦入力 ✕</p> <p>読み込むデータの年度を「西暦」で入力して下さい。</p> <input style="width: 100%; text-align: center;" type="text" value="2011"/> <p style="text-align: right;">OK キャンセル</p> </div> <p>※必要項目が類似している場合に、その他の工区の入力結果をコピーすることもできますが以下の点に注意が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セル「J28」及びセル「J44」がコピーされますので、両セルの値を対象工区の情報に書き換えが必要です。(直接入力) |
| 3. 戻る | <ul style="list-style-type: none"> ・管路別機能評価準備シートに戻ります。 |
| 4. 印刷 | <ul style="list-style-type: none"> ・カルテシート-2 を印刷します。 |
| 5. 工区変更 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価する工区を変更します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">入力 ✕</p> <p>評価を開始する工区を「整数」で入力して下さい。</p> <input style="width: 100%;" type="text"/> <p style="text-align: right;">OK キャンセル</p> </div> |
| (その他機能) | |
| Del ボタン | <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオボタンのチェックを削除できます。 |